



議会だより

なよろ

10

No.

2008 .10 .1 発行



9月13日、第62回名中祭で「クラスアピールパレード」が初登場し、沿道を沸かせた。
(写真、上左)



9月13日、幼児センターの子供たちが風連町爽風会ケアハウス・フロンティアの敬老会を訪れ、元気いっぱい「ヨサコイ」の踊りを披露した。
(写真、上右)

9月6日、風連町幼児センターで「おまつりひろば」が開催され「子供のお店屋さん」などで、多くの親子や地域の人たちが楽しんだ。(写真、下)

第3回定例会

主	定例会で決まったこと・議会改革調査特別委員会	2
な	一般質問に14人	3
内	議会活動スナップ・可決された意見書・各委員会報告	10 ~ 11
容	へこたれない・議会日誌・編集後記	12

第3回定例会 9月1日～12日の12日間

活力ある名寄づくりにはひと役 ふるさと応援寄附条例を制定

平成20年第3回定例会は、9月1日から12日までの12日間開かれました。議案等の審議では、「名寄市ふるさと応援寄附条例の制定について」をはじめ21件、報告6件、諮問1件、意見書13件、その他1件を可決し、「名寄市都市公園条例等の一部改正に関する審査特別委員会」及び「決算審査特別委員会」を設置しました。一般質問は、10日・11日・12日の3日間行われ、14人の議員が市政に関する諸課題について質問しました。

主な条例

名寄市ふるさと応援寄附条例の制定

この条例は、地方税法等の一部が改正され、ふるさと納税制度が創設されたことに伴い、名寄市を愛し、応援しようとする皆さんの思いを形にするため、寄附金の使途、管理運用等について定めたもので、原案のとおり可決しました。

名寄市廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部改正

一般廃棄物を処理するため、内淵一般廃棄物最終処分場と風連一般廃棄物最終処分場を設置していますが、両施設の処理手数料は、現在も合併前の体系（内淵：従量制・風連：累進制）を採用しています。受益者に対する負担の公平を確保するため、異なる処理手数料の算定方法を従量制に統一しようとするもので、審査を民生常任委員会に付託しました。

「名寄市都市公園条例の一部改正」及び「なよろ健康の森条例の一部改正」

風連地区の「天塩川さざなみ公園」が、平成21年度からすべての施設が供用開始となることから、必要事項を定めるものです。

また、名寄公園パークゴルフ場と健康の森パークゴルフ場の利用料金について、天塩川さざなみ公園パークゴルフ場との共用料金を設定するため、2つの条例の一部を改正するもので、特別委員会を設置し、審査を付託しました。

人事案件



人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

野津 眞喜子氏（再任）

名寄市西3条南1丁目1番地

議会改革調査特別委員会

議会基本条例の制定へ

当委員会では、8月7日に名寄市立大学の白井暢明教授を招き、市民公開の講演会を開催しました。白井教授からは「地方分権時代における議会の役割」について多岐にわたりお話を頂きました。とりわけ、分権時代における議会・議員の意識改革については、議会に対する市民評価が低いのはなぜか。議会議論のあり方、議会の中身が見えないなど、具体的事例による指摘がありました。これからの議会・議員には、市民に対する公開性・透明性を高めるとともに情報の積極的な公開を図ることや情報収集能力、政策立案能力の向上が求められ、議会基本条例の制定はこれらに対処するための有効な方法である、との提言がありました。



審議日程

9月1日(月)	11日(木)
・開会	・一般質問
・行政報告	12日(金)
・議案の審議	・一般質問
・特別委員会の設置	・追加議案の審議
10日(水)	・意見書の審議
・一般質問	・委員の派遣報告
・議会運営委員会	・委員の派遣
	・閉会

一般質問



人材難で労働過多懸念

市民連合

佐藤 靖 議員

市立病院の諸課題と職員の意識改革は

問 公立病院改革プランの策定スケジュールとICU病棟の稼働時期は。医療従業者の確保状況と見通しは。労働過多が懸念されるが見解を。また、もっと市民目線で行政を展開するため、市内在住の有識者を活用した意識改革が必要では。

答 6月の第2定では、プラン策定は10月と答えたが、年度内策定で可となった。年明けの1月を目処に作業を進める。ICU病棟は医師確保を図り10月20日以降に稼働させたい。しかし、医療従事者の確保は正直厳しい。ヒヤリハット報告は、18年度880件、19年度867件を数えており、事故に発展しないよう労働過多にも細心の注意を払う。市民目線の行政運営は当然で

あり、職員にも地域や団体等とのかかわりを推進するとともに、有識者の協力を含めて職員研修のあり方を考えたい。

ノーレジ袋運動と中心市街地活性化

問 今後の考え方は。特に名寄地区中心市街地については早めの判断が必要では。

答 レジ袋の有料化は、市内大型店では年内にも踏み切る方針であり、混乱を与えない各関係との協議を進める。中活は、もう少し時間を。



救急外来、ICUの整備が進む市立総合病院



廃プラ燃料の可能性は

清風クラブ

谷内 司 議員

ゴミの適正処理と旧焼却施設の後利用

問 民間事業者などでつくるプラスチック油化還元研究会の1年以上の活動研究を踏まえ、廃プラから重油を作り、炭化センターなどに再利用する事業化を積極的に推進すべきと考えるが。また、旧焼却施設の後利用を含めて、早急に取り組む課題だと思うが。

答 プラスチック油化還元研究会は、名寄市・衛生施設組合・名寄市立大学・民間事業者など官民が一体となり会議と実験を行い、「将来的には炭化センターの重油代替燃料としての活用ができる」などの研究成果をまとめた。課題としては、施設の維持補修費が不透明、収集区分の変更や施設整備費などが考えられる。メリットとして

は、処分場の延命、処理手数料の削減、抽出油の使用で維持費の軽減などに効果があることから、後利用の調査研究を進める。

消防署と風連出張所の出動体制は

問 昼のサイレンの遅延作動と、救急車、または消防車が出動した後、出張所が無人となるが。

答 名寄地区と風連地区で、別々の無線制御装置を使用していることから遅れが生じているが、災害時には遅れは発生しない。施設後無人となるが、駆け込み等は玄関内の直通電話(3-2119)で本署に接続する通信受理体制になっている。



資源は宝、油が出来る

一般質問



福祉灯油支援の推進を

公明 高橋 伸典 議員

福祉灯油への考えは

問 原油価格の高騰による諸物価の値上がりは、家計への圧迫となり、非常に厳しいものがある。昨年同様に、福祉灯油支援の推進を。

答 昨年度、歳末たすけあい運動の義援金品配分世帯や民生委員が支援を求める世帯に100ℓ、施設入所世帯に35ℓの灯油券を配布した。本年も暖房灯油の需要期を迎え、家計への負担に大きな影響を及ぼすため、特に低所得者層を対象とした対策が必要と感じており、今年度も昨年と同様に福祉灯油支援事業を行いたい。支援先が昨年より100世帯ほど増え、約380世帯になる見通しである。

農商工連携で地域活性化



市民が主役のまちづくりを

緑風クラブ 大石 健二 議員

生活弱者に手厚い保護を

問 年金生活の高齢者、入院・通院等に伴う治療費の出費で生活が圧迫されている障害者、また就労の機会に恵まれず収入が途絶している中高年者の皆さんの中には、もはや節約や倹約の域を超えた容易ならざる厳しい生活を余儀なくされ、最後の拠り所となる名寄市の生活福祉行政における救済施策・セフティネット対策は。

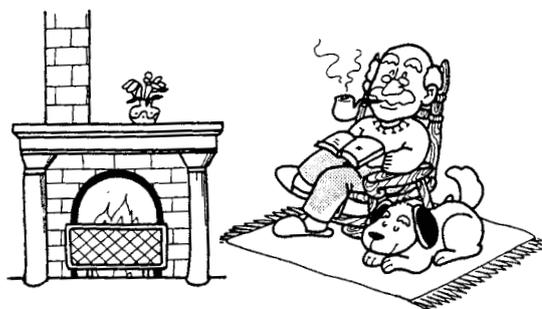
答 高齢者、障害者、生計維持が困難となった市民の皆さんの事情に応じたそれぞれの施策で個別対応していく。

行財政改革の本質を見極めよ

問 本年4月に設置された名寄市行財政改革推進実施本部とは、どのような組織なのか。既存

問 農商工等連携促進法は、進んでいない産業間の連携による事業推進のため制定され、予算措置もある。農商工連携による新商品の開発、農業レストランの開設、農産物の新規流通ルート開発の可能性も考えられるが。

答 基幹産業が農業のまちとして、もち米、アスパラなど多数の地域資源があり、可能性を秘めている。JAや商工会議所、商工会とも協議を進め、若い農業青年、商工青年の異業種交流等を通じて、促進法の事業の可能性を探っていく。



の2委員会の「屋上屋」を重ねる組織となるのではないかと。これまで回を重ねて行われたであろう、協議経過と今後の日程、各検討部会におけるそれぞれの改革推進の主目的は。

答 本年4月末に島市長を本部長とする名寄市行財政改革推進実施本部を設置。常任委員会には経過等の報告を行ってきた。「組織・機構」など3つの検討部会を設け審議を重ねており、年内を目処にまとめ周知をする。

他の質問・一般質問通告制にかかわる質問主旨の聴取について



計画は入念に... (写真はピヤシリ山登山口)

一 般 質 問



農業振興施策について

市民連合
植松 正一 議員

■ 資材高騰への支援策は

問 JA 道北なよろでは、肥料在庫整理も含め早期引取奨励を実施している。このまま原油・資材の高騰が続くと、生産費（労働費を除く）のアップにより営農を続けられるのか心配である。死活問題でもある。市独自の支援策は。

答 燃料・生産資材高騰の影響は、農業関係だけでなく、他の産業分野や市民生活全般で懸念されており、今後、国・道の総合的な対策、対応を見極める必要がある。現時点では、市独自の支援は考えていない。

■ 土づくりについて

問 家畜排泄物の完熟堆肥を製造し、水田、畑作に還元し、安全・安心な農産物の生産を進める土

づくりの考えは。

答 耕畜連携を図り、資源循環型畜産、クリーン農業、有機農業の推進を図る必要がある。堆肥の製造や運搬、散布機械の導入やオペレーターの確保を含め、関係機関、団体、農家と連携し調査研究を進める。

他の質問・農業労働者確保と法人化について
・市有地の遊休地利活用の中で、緑丘第二団地跡地の今後の方向性について



智恵文地区で家畜排泄物を利用した発酵処理施設



まちの再生に向けて

市政クラブ
黒井 徹 議員

■ 中心街地活性化計画について

問 協議スケジュールが遅れているが、年度内の申請は可能か。現状での計画内容とコープ札幌の進出への対応について。

答 商工会議所がまとめた事業案を基本にまちづくり委員会で、駅周辺の複合施設、3・6街の再開発など28事業を予定しているが、これから関係者との協議を進めていく。今後は、まちづくり会社の設立を行い、申請を年度内にと考えているが、今後1・2カ月が判断の期限になる。また、コープ札幌についても、市として、早い時期での判断を要することになる。

■ 農業政策について

問 生産資材等の高騰による影響と対策につい

て。地産地消や特産品のPRについて。

答 影響は6億6,400万円で、農家経営を圧迫している。行政としては、直接支援は困難であるが、農協と協議を行い検討する。地産地消についても、給食での使用や道の駅、市内7カ所の農家直売所の紹介など積極的に行っていく。提案のあった、市長自らの名寄市の紹介を含めたりーフレットについても、前向きに検討していく。

他の質問・名寄大学の財政と教員確保について。



早期の開発が待たれる駅南周辺

一般質問



厳しすぎる農家経済

凜風会
日根野 正敏 議員

より効果的な情報発信

問 資材高騰と農産物の価格低迷により、農家経済は再生産可能な経営の限界を大きく超えている状況であり、国、道、市の責任において効果的な施策が必要だが、市の支援策は。また、農業振興センターの機能を見直し、信頼性の高い経営に役立つ情報の収集発信をすべき。

答 市独自の支援は、他産業も同じく影響を受けているので、国や道の対策を見極めながら検討していく。振興センターの機能は、当初の目的である転作畑からいかに所得を上げるかであり、近年その幅が広がっているところもあるので、関係団体と協議し農業経済効果の高い施設にしていく。



新しい学習指導要領

市政クラブ
佐々木 寿 議員

周知と具現化に対する考えは

問 学習指導要領の改定に伴い、教育関係者や保護者に対する説明は。また、09年度前倒し教育及び環境整備への取り組みは。

答 各学校では、新指導要領の内容や変更点の理解など対応準備に取り組んでいる。また、全国学力テストを踏まえ、昨年度作成した「指導改善プラン」を改定し、保護者に十分趣旨や変更点を周知していく。前倒し教育については、幼・小連携の促進、指導の充実を図るとともに、教材の整備に対しても、学校配当予算で措置しながら、道教育委員会の移行措置編成の手引きに基づき対応したい。

望湖台の運営管理について

市内の循環コンポスト

問 市内から出た汚泥や炭化物は、市内で再利用し、循環させることが環境や経済面からも有効だが実態は。汚泥肥料と炭化物を混合すると利用しやすくなると思われるが検討を。

答 汚泥肥料は年間約800t発生し、約500tを市内利用組合に配給している。炭化物は年間300t発生し、新日鉄室蘭で利用されている。汚泥肥料と炭化物の混合利用研究については、法的な面も調査して検討していく。

他の質問・特認校の現場と今後について



地元農業の救世主をめざしてほしい農業振興センター

問 ふうれん望湖台の上半期事業実績は。また、同自然公園の整備事業、将来展望は。

答 総売上げで対前年比82.3%と落ち込んでおり、収益面でセンターハウスと自然公園の管理体制については、今後の課題として受け止めている。公園整備に関しては、道に要望しており、道としても国に補助申請を行い、認可となれば来年度から取り組まれることになる。

他の質問・原油高、物価高の情勢で風連地区再開発事業への影響及び対策について



平成21年4月から、幼稚園、小学校、中学校で、新しい教育内容がスタートします。

一般質問



バイオマスについて

まちづくり
渡辺 正尚 議員

■ バイオマス事業の導入は

問 化石燃料（重油）が高騰しているおり、バイオマス研究会等を立ち上げて、事業導入に向けた調査・研究をする必要があると思うが。また、その研究会には石油製品を扱っている業者を入れ、理解してもらうことも必要だ。隣町の下川町五味温泉では、昨年バイオマス燃料により500万円の経費が節減されたと聞く。

答 当市においても「アグリエネルギー研究会」が設立されており、関係者と協議しながら対応していきたい。

■ 商店街振興策について

問 地元の商店街の賑わい作りには、消費者の移動手段や空き店舗対策、空き地対策が必要だ。



生徒の携帯電話対策

市政クラブ
持田 健 議員

■ 携帯電話の保有と現状

問 小中学生の子どもに携帯電話を持たせている家庭はどの程度あるのか。また、携帯ネットによる「いじめ」、それによる「不登校」、さらには「学校裏サイト」による誹謗中傷はないのか。教育委員会としてどのように指導しているのか。

答 携帯の所持は、小学校で10%、中学校で50%程度。ネットによる「いじめ」は、19年度及び20年度で各1件。「不登校」については、ネットとの関係は不透明だが、小中学校とも数件あるものの、減少傾向となっている。「学校裏サイト」への書き込みは、ここ3年で数件あったが、発見後に削除した。今後も利用ル

私が以前から言っている「乗合タクシー」や、定期的な市内無料バス運行事業に合わせて商店街でイベントを行う。空き対策では、屋台団地を行うなど、様々な施策がある。

また、消費者と商業者が対話できる環境の整備が必要と思うが。

答 まちづくりに関するいろいろな関わりのある方々が連携し、一体となって推進していかなければ伸展はない。民間活力と合わせた取り組みが、是非とも必要であると考えている。

他の質問・農業振興施策について



木質バイオマスボイラー
(下川町五味温泉)

ルなどを指導するとともに、生徒指導連絡協議会などで対応について検討する。

■ 学校・公共施設の耐震

問 災害時に避難場所となっている学校や公共施設の耐震性は大丈夫か。

答 学校施設は、児童生徒の学習と生活の場であり、地域住民にとっても緊急時の避難場所となっていることから、今年度中に耐震化計画を策定し、計画的な耐震化を進める。大地震時は、基本的に学校体育館を収容避難所に充てたい。



携帯メール着信

一般質問



安心して健やかな生活を

凜風会
木戸口 真 議員

介護職員の確保対策を

問 名寄市特別養護老人ホームの入所状況と、介護職員の確保対策は。

答 今年度の清峰園(定員100人)の月平均利用者は95.4人、待機者は108人。しらかばハイツ(定員80人)の月平均利用者は76.6人、待機者は174人となっている。利用状況を見ると両施設で「空き」の状態があることになるが、空きが生じてもすぐに入れられない状況もあり、入所判定委員会、ケアマネージャーとも連携し適切な入所を進める。介護職の確保は緊急の課題で、新卒者確保に努めたい。

地域の声を大切に

問 風連地区の地域自治組織の移行に向けた状



もち粉パンにこだわり

緑風クラブ
山口 祐司 議員

米飯給食は週に4.5回提供

問 名寄市では、週に何回の米飯を提供しているのか。また、米粉によるパンの製造は可能か。

答 週に米飯が3.5回、麺類が1回、パンが0.5回となっており、麺類の提供時には半ライスをつけていることから、実質4.5回の提供となっている。米粉パンの製法には色々あるが、名寄市の学校給食においては、安全・安心の観点から添加物は使わないとしており、慎重に対応している。「日本一のもち米」を児童・生徒に意識してもらうため、「もち粉パン」にこだわりを持って提供したい。また、学校給食用食材供給施設の使用開始に合わせて提供し、他の地元農産物(アスパラ・南瓜・馬鈴薯等)を活用した

況と、公民館分館との整合性について。

答 風連地区17の行政区を、10の新たな組織に再編する素案を検討中である。区割りに異論もあるが、再編することを主眼に、地域住民の意見を十分に聴いて結論を出していきたい。

公民館分館について、特例区期間中は現行の形を継続していきたい。その後については、両地区の公民館分館制度に大きな差があることから、統一しなければならない。特例区終了後のあり方は今後関係機関と協議する。



全国の福祉施設で介護職員不足が叫ばれている(しらかばハイツ)

特殊パンの製造も視野に入れ進めていく。

今後も河川愛護組合で

問 クラヌマ川の維持管理体制は。

答 名寄市による維持管理体制は、河川愛護組合による除草作業や、市においての床ざらいなどを実施している。今後においても、河川愛護組合における除草作業を継続していただけるようお願いするとともに、床ざらいなども適時行っていく。

他の質問・環境行政について



大雨時、風連市街地の水が一気に流れ出すクラヌマ川

一般質問



わかりやすい情報公開

日本共産党
川村 幸栄 議員

■ サルダムダムについて

問 ダム建設には、自然保護団体や北るもい漁協が反対しているが、本体建設費が来年度予算要求に計上された。サクラマスをはじめ貴重な自然が数多く残っているサルダム川の環境を守ること、治水・利水の効果について、ダム建設による市民負担について名寄市の考えは。

答 環境対策が十分されるなかで、事業が進むものと認識している。風連地区、名寄駐屯地の給水統合で安定水量確保のためダムは必要。安心安全な水の供給を目指し、早期実現に期待している。今年度改訂の水道料金で一世帯あたり月14円54銭の負担をお願いしている。

■ 市民と行政との協働



名寄市食育推進計画

市政クラブ
宗片 浩子 議員

■ 恒久的な食育推進計画を

問 名寄市食育推進協議会の位置づけは。また、学校給食センターから小学校に派遣している栄養教諭を専任教諭とすべきではないか。

答 推進協議会は、各関係機関・団体の情報共有・連携を図りながら、名寄市らしい総合的な食育推進に取り組む組織で、具体的に推進していくため協議会の下に「生活福祉」「教育」「経済」の分科会を設置し、分野ごとに課題の整理や計画で定めた実施事業についての協議・検討・評価などを進めることにしている。栄養教諭の専任については、業務の負担増となることも懸念されることから、給食センター内部で協議している段階だ。今後、他の自治体との情報交換

問 財政健全化に向けて取り組みが進んでいるなか、市民が納得できる見直しが必要ではないか。広報・広聴活動の充実と情報公開、子どもにもわかりやすい財政情報の公表が必要と思うが。

答 グラフ・イラストなども使い、よりわかりやすい情報提供を検討したい。職場内のチームワークを強め、課内学習にも取り組み、窓口での市民対応に努めたい。

他の質問・石油製品の高騰から市民の暮らし・営業を守ることにについて



守りつづけなければならないサルダム川の清流

をしながら、労働環境の整備などについても研究したい。

■ 市立病院の環境整備を

問 西日が射す病棟にエアコンを設置すべき。

答 診療上必要な一部外来診療科に設置しているが、病棟などには設置していない。すべてに設置となれば約1億8000万円かかる。また、ランニングコストを考えると、必要性は認識しながらも導入は困難。今後の収支状況を見ながら検討したい。



楽しい学校給食

市民ソフトボール大会に参加 議員会

残念、初戦で敗れる

雨上がりの8月3日、第32回名寄市民ソフトボール大会が開催され、常敗にもめげず、捲土

重来を期して毎回参加の我が名寄市議会は、第1試合で「北昭産業」と対戦。ヒット、ファインプレーはあったものの、0：11でコールド負け。来年の雪辱を胸に秘め、河川敷を後にしました。



可決された意見書

- ・「特例一時金」を50日分に戻し、季節労働者対策の強化を求める意見書
- ・生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書
- ・社会保障関係費の削減方針の撤回を求める意見書
- ・勤労貧困層の解消に向けた社会的セーフティネットの再構築に関する要望意見書
- ・太陽光発電システムのさらなる普及促進を求める意見書

- ・ヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）関連疾患に関する意見書
- ・道路財源の「一般財源化」に関する意見書
- ・学校耐震化に関する意見書
- ・生産資材高騰等に関する意見書
- ・投機マネーの抜本的規制強化に関する意見書
- ・介護保険計画の見直しに関する意見書
- ・新たな過疎対策法の制定に関する意見書
- ・北海道開発局の存続に関する意見書

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

今年度2回目の委員会を8月7日に開催するとともに、8月18日から3日間にわたり室蘭市、芦別市、奈井江町の行政視察を行った。

第2回委員会は、風連中学校の移転が検討されている風連高校校舎を視察したあと、所管する各部局から諸課題の報告を受けた。この中には、ふるさと納税制度に伴う条例、新天文台建設事業等について説明を受け、理解を深めた。

一方、行政視察は室蘭市の「らんらん債」「室蘭市、伊達市の広域連携」「室蘭ふるさと大使」

「小中学校の適正配置」。芦別市では「財政健全化計画」「インターネット公有財産売却」「子ども対策」。奈井江町で「自治基本条例」「町長に手紙を出す運動と予算説明書」「移住、定住促進の取り組み」の10項目45点にわたり研さんを深めた。各委員からは、名寄市で活かすことを念頭に熱の入った質疑が続いた。



室蘭市で「らんらん債」などの説明を受ける

民生常任委員会

委員会は、7月15日から18日までの日程で、行政視察を行った。

滋賀県東近江市では、「菜の花エコプロジェクト事業」について研修した。この事業は休耕田を利用し菜の花を植え、菜種油を搾油し家庭料理や学校給食に、油かすは肥料や飼料として使用。廃食油は回収して石けんや軽油の代替燃料として使用するという、地域内で資源が循環する事業である、との説明を受けた。

京都市では、「京都市地球温暖化対策条例」について研修し、この条例の施行には市民・事業

経済常任委員会

委員会は、7月15日から18日までの日程で、長野県川上村、長野市、東京都杉並区の行政視察を行った。川上村では、「高原野菜レタス栽培日本一の取り組み」について研修し、野菜の差別化をはかり、行政・農協・農家が共に協力して取り組んでいた。長野市では「中心市街地活性化の取り組み」について、今ある資産を再活用した活性化事業に、市民を巻き込んで取り組んでいた。また、同じ視察項目で杉並区高円寺パルを訪問。アーケードの老朽化に伴う再建

建設常任委員会

委員会は、第2回定例会以降2回開催した。

7月14日の委員会では、肥料としても活用されている名寄下水終末処理場の下水汚泥から、肥料法に定める基準値を超える水銀が検出されたことと、その後の対応について説明を受けた。

議会運営委員会

委員会を8月29日に開催し第3回定例会の日程を9月1日から12日までの12日間とした。

提案される「名寄市廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部改正について」は、民生常任委員会に付託とし、「名寄市都市公園条例の一

者・行政の密接な連携が不可欠であることを学んだ。

奈良県天理市では、「安心して子育てが出来るための支援体制づくり」について研修し、子育て経験が乏しい若いお母さんと赤ちゃんが、二人きりで閉じこもりにならないよう取り組んでいるなどの説明を受けた。

これら学んだことを、名寄市のまちづくりに生かしていきたい。



京都市役所での研修の様子

計画に6年間にわたる時間をかけた、計画性の高い活性化事業となっていた。

8月27日に委員会を開催し、課題や取り組みについて説明を受けた。中心市街地活性化基本計画策定の進捗状況では、計画に盛り込まれた28事業(案)の説明があり、その後、主要農作物の作況などで、11カ所の現地視察を行った。



長野市中心市街地活性化事業を視察

8月18日には、目標年度を平成20年度から平成35年度までの16年間とする「名寄市水道ビジョン」が示され、その後、現地視察を行った。



渡辺士別道路事務所長より名寄バイパス(智恵文~美深間)の説明を受ける

部改正について」と「なよる健康の森条例の一部改正について」は、12名の委員で構成される審査特別委員会を設置し、審査することとした。

また、平成19年度各会計決算(病院・水道事業会計含む)の審査のため、決算審査特別委員会を設置し、委員長に田中好望議員、副委員長に日根野正敏議員を推薦した。

へこたれない



挑 戦

名寄市風連町字旭 西村 兼夫

祖父が開拓した土地を、百年を機に手放す事にしました。

土地を手放す事は厳しい決断でした。私はこれを一つのステップとして、今まで出来得なかった事に挑戦をすることにしました。まず、パソコンをやろう、しかし誰に教えてもらう事もできません。家に来る人すべて先生です。お陰さまで、インターネットで孫とのメール交換は不自由をしないまでになりました。次は瑞生大学に入学、入学時には最年長でしたが皆さんは快く迎えてくれました。午前中は講義、午後はクラブ活動です。同窓生は154人、素晴らしい仲間ができました。私はこれからも挑戦を続けようと思います。まだまだ 喜寿だから？



変化の中で

名寄市字智恵文11線南15 伊東 浩次

環境問題・食糧問題など、世界を取り巻く環境は大きく

変化し、日本の農業においても肥料・石油製品など生産資材の大部分を輸入に依存するなかで価格は暴騰し、生産コストは上昇を続け、生産資材の確保すら難しい状況が現実となりました。しかし、この変化は旧来の農業を見直す良いきっかけでもあり、次の世代の為にも、農業がこの国にとって必要な産業として自立できるよう力添えをいただき、私も一農業者として、皆さんに安全な農産物を提供できるよう努力していきたいと思います。

議 会 日 誌

- 6月20日 ・ 議会報特別委員会
- 23日 ・ 議会改革調査特別委員会(作業部会)
- 7月 2日 ・ 杉並区議会行政視察来名
- 3日 ・ 議会改革調査特別委員会
- 7日 ・ 静岡県長泉町議会行政視察来名
- 8日 ・ 経済常任委員会
- 14日 ・ 建設常任委員会
- 16日 ・ 全国市議会議長会基地協議会理事会(東京都)
- 24日 ・ 議会改革調査特別委員会
- 29日 ・ 千葉県八街市議会行政視察来名
- 30日 ・ 旭川市議会行政視察来名
- ・ 徳島県三好市議会行政視察来名
- 31日 ・ 民生常任委員会
- 8月 4日 ・ 石川県加賀市議会行政視察来名
- 7日 ・ 総務文教常任委員会
- ・ 議会改革調査特別委員会講演会
- 18日 ・ 建設常任委員会
- 26日 ・ 各会派代表者会議
- ・ 議会改革調査特別委員会(作業部会)
- 27日 ・ 経済常任委員会
- 29日 ・ 議会運営委員会
- ・ 議会報特別委員会

編 集 後 記

第3回定例会では14名の議員が一般質問に立ち、行政側からの答弁も前向きな意見が多かったように感じられました。

今回読んでいただいたら感じると思いますが、各議員の持ち味を充分に出せた議会だったと自負しています。それと、国では国政選挙モードに突入していますが、我々議員は市民生活のた

めに質問しているのであって、行政に対してのチェック機能を働かせ、市民生活を守ることが重要です。今回の議会は傍聴人が少なかったようにも感じましたので、どうか皆さん議会にもお気軽に傍聴に来て下さい。

これから秋もしだいに深まり、だんだんと寒さが厳しくなりますので、どうか体調管理には十分気をつけて下さい。(尚)

